



大学における性暴力被害者に対する支援体制の構築

保健管理センター 教授 河野 美江

近年、我が国において大学生が性暴力被害者となる事件が社会問題になっています。被害を受けた学生は、望まない妊娠や性感染症のリスクのみならず、精神的に強いストレスを受け、その後の生活に大きな支障をきたします。私たちが行った大学生の調査によると、「身体を触られる」以上の性暴力被害経験は約半数に、レイプ被害経験は3%にあり、性暴力被害経験のある学生は、被害経験のない学生に比べ精神健康度が有意に悪く、性暴力被害はメンタルヘルスに深刻な影響をもたらしていました。被害者が安心して支援を求められる体制整備は喫緊の課題です。そこで本研究班では、性暴力被害を受けた学生が安心して支援が受けられるように、大学における性暴力被害学生に対する支援モデルを構築し、全国の大学に拡げていきます。



大学生のための啓発リーフレットを作成しました